

### 先週のマーケット動向(9月26日~9月30日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,419.0	1,442.2	1,419.0	1,430.2	+21.9
JPY/KRW	9.8830	9.9774	9.8553	9.8962	▲0.006
KOSPI	2,260.80	2,260.80	2,134.77	2,155.49	▲134.51

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。前週に英国政府が大型減税策を発表したことがきっかけで英国債の金利が急騰すると、市場はリスクオフ気味のドル買いとなり26日のドル/ウォンは1,419.0にてオープン。米韓それぞれの金利が20bp近く変動する非常にボラタイルな状況のなか、ドル/ウォンは28日に1,442.2まで上昇した。しかし、28日海外時間に英中銀が債券市場安定化のために期間20年以上の長期国債を無制限に購入することを発表。前日に4%に乘せていた米10年債利回りが20bpの急低下を記録すると、韓国金利も低下。ドル/ウォンももみ合いの相場に移行した。月末にかけても実需フローはドル買いが強く底堅く推移したものの、30日には当局の介入と思われるフローが明確に入りドル/ウォンは下落。結局、先週末対比21.9ウォン上昇した1,430.2ウォンでクローズ。

### 今週の見通し

今週のドル/ウォンは下落する展開を予想する。英国政府による減税施策撤回や、軟調な米経済指標をきっかけとして、7月に見られたような過度な利上げによるリセッション懸念をメインドライバーとする金利低下が見られだしている。次回のFOMC(11/3)や、米CPI(10/13)の発表まで時間があることもあり、今週は8、9月の金利上昇の調整が相応に入ることが想定されよう。しかしながら韓国の貿易赤字は不変であり、実需のウォン売り圧力は相応にあることを考えると、ドル/ウォンの下落幅は緩やかなものに留まろう。

予想レンジ

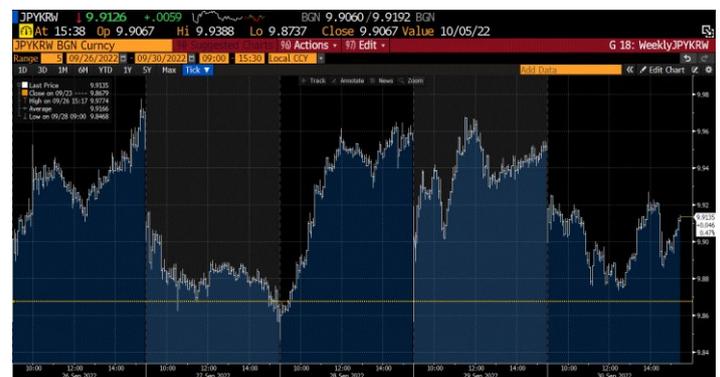
USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1415 ~ 1440	9.80 ~ 10.05	143.0 ~ 145.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

\* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



\* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



### 今後の予定

- 3日(月) 米 9月 製造業PMI 確報値  
欧 9月 製造業PMI 確報値  
米 9月 ISM製造業景況指数 速報値  
日 3Q 日銀短観
- 4日(火) 米 8月 耐久財受注 確報値  
米 8月 製造業受注  
日 9月 東京都区内CPI 速報値
- 5日(水) 欧 9月 サービス業PMI 確報値  
米 9月 サービス業PMI 確報値  
米 9月 ADP雇用統計 速報値  
韓 9月 CPI 速報値  
米 9月 ISM非製造業景況指数 速報値
- 7日(金) 韓 8月 国際収支  
米 9月 非農業部門雇用者数 速報値  
米 9月 失業率 速報値